

成績評価の説明

2014年9月／2015年1月より適用

目次

はじめに	1
グループ 1 「言語と文学」 成績評価の説明	2
グループ 2 「言語の習得」 成績評価の説明	4
グループ 3 「個人と社会」 成績評価の説明	12
グループ 4 「理科」 成績評価の説明	14
グループ 5 「数学」 成績評価の説明	19
グループ 6 「芸術」 成績評価の説明	21
学際的科目 成績評価の説明	23
「課題論文」(EE) 成績評価の説明	28
「知の理論」(TOK) 成績評価の説明	30

はじめに

本資料はIBディプロマプログラム(DP)の各科目の「成績評価の説明」(Grade descriptors)を一冊にまとめたものです。成績評価の説明とは、各学年で評価の対象となるパフォーマンスの特徴についての説明です。これらの説明は各科目グループに適用されますが、成績評価の説明には、複数のグループにわたってかなりの類似点があります。

上級試験官は、試験問題の解答やコースワークの成果物がどの段階の評価に値するかを判断するために、これらの成績評価の説明を用います。各段階の成績評価には、それに相当するパフォーマンスの典型的な特徴が記載されています。しかし、志願者の成果物にある1つの段階の成績評価の説明のみがぴったりと当てはまる場合はまれで、複数の成績評価の説明に述べられている特徴を合わせもつ場合がほとんどです。したがって上級試験官は、多くの志願者の成果物を検討し評価の境界線を決定します。評価の境界線とは、志願者の成果物において評価項目の特徴が一定して現れる最低点の位置を指します。それを見極めるために、さまざまな点を考慮に入れ、補正の余地を残しながら調整を行います。

成績評価の説明は、教師がIBDPの学問的要件を生徒に説明し、形成的評価を行い、進歩を報告し、予測スコアを出す上での手助けとなるために作成されています。

グループ1「言語と文学」 成績評価の説明

評価7

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、非常に優れた理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答には説得力があり、詳細で、独自性のある分析、まとめ、評価を行っている。口頭と記述の双方において、非常に高いレベルの表現力がある。非常に高度な正確さと明確さを備えている。文脈を非常によく認識し、聞き手や読者に対する影響について非常に優れた関心のもち方を示している。作品の中で表現されている考えや感情に対する批判的(クリティカル)な考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、非常に効果的に構成されている。

評価6

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、大変良い理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答の大部分には説得力があり、ある程度の詳細さと独自性のある分析、まとめ、評価を行っている。口頭と記述の双方において、高いレベルの表現力がある。高度な正確さと明確さを備えている。文脈をよく理解し、聞き手または読者に対する影響について優れた関心のもち方を示している。作品の中で表現されている考えや感情に対する批判的な考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、効果的に構成されている。

評価5

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、良い理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答はたいてい熟考の上でなされており、妥当な分析、まとめ、または評価を行っている。口頭と記述の双方において、まずまずの程度の表現力がある。まずまずの正確さと明確さを備えている。文脈を理解し、聞き手または読者に対する影響に関心を示している。作品の中で表現されている考えや感情に対する考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、明確に構成されている。

評価4

設問や課題に対するまずまずの知識と理解が示されている。解答における分析やまとめの大部分は妥当である。口頭と記述の双方において、納得できる程度の表現力がある。正確さや明確さの点で若干の欠落がある。文脈に対するある程度の認識と、聞き手または

読者に対する影響にある程度の関心を示している。作品の中で表現されている考えや感情は、基本的な構成が正しくなされているなかで探究されている。

評価3

設問や課題に対するある程度の知識と理解が示されている。解答はある程度の範囲で妥当であり、ある程度の範囲での適切な詳細さで述べられている。口頭と記述の双方において、ある程度の適切な表現力がある。正確さや明確さの点で誤りが見られる。文脈に対する認識と、聞き手または読者への影響に対して示す関心は限定的である。作品の中で表現されている考えや感情は、構成が正しくなされたある程度の証拠が認められるなかで探究されている。

評価2

設問や課題への理解が表面的である。解答における妥当性はおおむね限定的である。口頭と記述の双方において、表現力は限定的である。正確さや明確さの点で重大な欠落が見られる。文脈に対する認識と、聞き手または読者への影響に対して少ない関心しか示していない。作品の中で表現されている考えや感情は、初歩的な構成のなかで探究されている。

評価1

設問や課題に対し、非常に初歩的な知識や理解しかない。解答には非常に限定的な根拠しかない。口頭と記述の双方において、表現力が非常に限定的である。正確さと明確さの点で、広範囲に及ぶ欠落が見られる。文脈に対する認識がまったくなく、聞き手または読者に対する影響に対してまったく関心を示していない。作品の中で表現されている考えや感情は、非常に初歩的な構成のなかで探究されている。

グループ2 「言語の習得」 成績評価の説明

「言語 B」 (HL)

評価 7

話し方は明確さと流暢さを備えている。語彙は慣用句を含め非常に幅広く、内容を大変適切に伝えている。考えは活発で複雑な対話の中で、効果的かつ巧みに述べられている。テキストの意味や目的を的確に理解している。最も難易度の高い設問にほとんど苦勞せずに答えることができる。特定の言語の使用における微妙な内容をほぼすべて正しく識別することができる。文章は詳細で表現力があり、非常に高いレベルで語彙を駆使し、複雑な構成をもち、一貫して高度な文法的正確さを備えている。成果物の作成において明確な思考を示し、聞き手または読み手を惹きつけ、説得し、影響を与えることができる。

評価 6

話し方ははっきりとしており、流暢かつ自然である。語彙は慣用句を含み豊富で、内容を適切に伝えている。考えは活発で十全な対話の中で、効果的に述べられている。テキストの意味や目的を大変よく理解している。比較的難易度の高い設問にほとんど苦勞せずに答えることができる。特定の言語の使用における微妙な内容をほとんど理解している。文章は詳細であり、大変良いレベルで語彙を使いこなし、複雑な構成をもち、大変良いレベルの文法的正確さを備えている。聞き手または読み手や目的に合わせて、適切な記述をすることができる。筋道立てて説得力のある形で、自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価 5

話し方はほとんどの場合にはっきりとしており流暢である。語彙は幅広く、内容をほぼ適切に伝えている。考えはおおむね十全な対話の中で、ほぼ効果的に述べられている。テキストの意味や目的をよく理解している。比較的難易度の高い設問にいくらか苦勞する。特定の言語の使用における微妙な内容をいくらか理解している。文章はやや詳細であり、良いレベルで語彙を使いこなし、良いレベルの文法的正確さを備えている。聞き手または読み手や目的に合わせて、適切な記述をすることができる。筋道立てて自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価4

話し方はおおむねはっきりしている。基本的な範囲で語彙を正しく伝えている。考えは完全な対話の中で、ときどき適切に述べられている。テキストの意味や目的をまずまず理解している。ほとんどすべての難易度の高い設問といくつかの平均的な設問にいくらか苦勞する。特定の言語の使用における微妙な内容をいくつかに識別することができる。文章はまずまずの語彙と文法的正確さを備えている。聞き手または読み手や目的に合わせた記述をすることができるある程度の能力を示している。適切な形で自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価3

話し方はためらいがちで、ときどき不明確である。単純な表現の範囲で語彙をだいたいの時において正しく伝えている。考えはやや限定的な対話の中で、いくらか苦勞しながら述べられている。テキストの意味や目的をいくらか理解している。平均的な難易度の設問に苦勞する。文章には、基本的なレベルで使える語彙が使用され文法上の構成についてはある程度の理解が見られる。文章の種類を特定して文を書くことができる。自らの考えを述べ、成果物を作成するいくらかの試みがなされている。

評価2

話し方はためらいがちで、おおむね不明確である。限定的な範囲での語彙を、しばしば不正確に使用している。考えは限定的な対話の中で苦勞しながら述べられている。テキストの意味や目的についての理解はやや限定的である。簡単な設問にいくらか苦勞する。文章の語彙はやや限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。文章の種類を特定して文を書くことができるが、成果は限定的である。文章を書くにあたっての基本的なまとまりに対していくらかの試みがなされている。内容にはほとんど説得力がない。

評価1

話し方はためらいがちで不明確である。大変限定的な範囲での語彙を、ほとんど不正確に使用している。考えは大変限定的な対話の中で、非常に苦勞しながら述べられている。テキストの意味や目的についての理解は限定的である。もっとも簡単な設問にも苦勞する。文章の語彙は限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。書かれた文章の種類はほぼ特定できない。成果物はまとまりを欠いているため、内容に説得力がない。

「言語 B」(SL)

評価 7

話し方ははっきりとしており、流暢かつ自然である。語彙は慣用句を含み豊富で、内容を適切に伝えている。考えは活発で十全な対話の中で、効果的に述べられている。テキストの意味や目的を大変よく理解している。比較的難易度の高い設問にほとんど苦労せずに答えることができる。文章は詳細であり、非常に良いレベルで語彙を使いこなし、複雑な構成をもち、非常に良いレベルの文法的正確さを備えている。読み手や目的を意識して、効果的に文章を作成することができる。筋道立てて説得力のある形でまとめ、自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価 6

話し方はほとんどの場合にはっきりとしており流暢である。語彙は幅広く、内容をほぼ適切に伝えている。考えはおおむね十全な対話の中で、ほぼ効果的に述べられている。テキストの意味や目的をよく理解している。比較的難易度の高い設問にいくらか苦労する。文章はやや詳細であり、良いレベルで語彙を使いこなし、良いレベルの文法的正確さを備えている。読み手や目的を意識して、適切に文章を作成することができる。筋道立てて自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価 5

話し方はおおむねはっきりしている。基本的な範囲で語彙を正しく伝えている。考えはときどきの十全な対話の中で、まずまず適切に述べられている。テキストの意味や目的をまずまず理解している。ほとんどすべての難易度の高い設問といくつかの平均的な設問にいくらか苦労する。文章はまずまずの語彙とまずまずの文法的正確さを備えている。読み手や目的に合わせた記述をすることができるそこそこの能力を示している。適切な形で自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価 4

話し方はためらいがちで、ときどき不明確である。単純な表現の範囲で語彙をだいたいの際において正しく伝えている。考えはやや限定的な対話の中で、いくらか苦労しながら述べられている。テキストの意味や目的をいくらか理解している。平均的な難易度の設問に苦労する。文章には、基本的なレベルで使える語彙が使用され文法上の構成についてはある程度の認識が見られる。読み手や目的をある程度意識して文章を作成する能力を示している。自らの考えを述べ、成果物を作成するある程度の試みがなされている。

評価3

話し方はためらいがちで、おおむね不明確である。限定的な範囲での語彙を、しばしば不正確に使用している。考えは限定的な対話の中で苦労しながら述べられている。テキストの意味や目的についての理解はやや限定的である。簡単な設問にいくらか苦労する。文章の語彙はやや限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。文章の種類を特定して文を書くことができる。文章を書くにあたっての基本的なまとまりに対していくらかの試みがなされている。内容にはほとんど説得力がない。

評価2

話し方はためらいがちで不明確である。大変限定的な範囲での語彙を、ほとんど不正確に使用している。考えは大変限定的な対話の中で、非常に苦労しながら述べられている。テキストの意味や目的についての理解は限定的である。もっとも簡単な設問にも苦労する。文章の語彙は限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。文章の種類を特定して文を書いているが、その成果は限定的である。成果物はまとまりを欠いているため、内容に説得力がない。

評価1

話し方は大変ためらいがちで不明確である。大変限定的な範囲での語彙を、不正確に使用している。考えは大変限定的な対話の中で、ほぼ述べられていない。テキストの意味や目的についての理解は大変限定的である。ほとんどの設問に苦労する。文章の語彙は大変限定的であり、文法上の構成についての認識は大変少ない。書かれた文章の種類はほぼ特定できない。成果物はまとまりを欠いているため、内容は理解しづらい。

「初級外国語」(SL)

評価7

受容技能 (聞く・読む) : 基本的な情報や考えすべてと、複雑な情報や考えのほとんどに、明確かつ効果的に答えている。

対話技能 : 的確に答え、効果的にコミュニケーションをとり、理解していることが示されている。発音やイントネーションは、常にメッセージの理解の一助となっている。対話に参加し、自ら進んで有意義な発言をする。メッセージは常に明確である。

表出技能 (話す・書く) : 効果的かつ論理的な構文を用いて、考えをよく発展させている。一連の単純な、またいくつかの複雑な接続詞を効果的に用いている。基本的な文型と複雑な文型を、どちらも正確に用いている。しかし、複雑な構文においてはたまに誤りが見られる。語彙は豊富で効果的であり、言語使用域は適切である。必要とされる場面では多様な文化の理解の明白な証拠が示されている。

評価6

受容技能（聞く・読む）：基本的な情報や考えすべてと、複雑な情報や考えのほとんどに、明確に答えている。

対話技能：ほとんどの場合に的確に答える。ほぼ常に効果的にコミュニケーションをとり、理解していることが示されている。発音やイントネーションは、ほぼ常にメッセージの理解の一助となっている。対話にほぼ常に参加し、自ら進んで発言をする。メッセージは通常明確である。

表出技能（話す・書く）：論理的な構文を用いて、考えをよく発展させている。一連の基本的な、またいくつかの複雑な接続詞を効果的に用いている。基本的な、また複雑な文型を正確に用いている。しかし、複雑な構文においてはいくつか誤りが見られる。語彙は豊富であり、言語使用域は適切である。必要とされる場面では多様な文化の理解の明白な証拠が、ほぼ常に示されている。

評価5

受容技能（聞く・読む）：基本的な情報や考えと、いくつかの複雑な情報や考えに、おおむね明確に答えている。

対話技能：的確に答え、おおむね理解していることが示されている。発音やイントネーションは、しばしばメッセージの理解の一助となっている。対話におおむね参加し、いくらか自ら進んで発言をする。メッセージはしばしば明確である。

表出技能（話す・書く）：論理的な構文を用いて、いくつかの考えを発展させている。一連の基本的な、またいくつかの複雑な接続詞をしばしば用いている。基本的な文型を正確に用いている。しかし、複雑な構文が正確である場合はめったにない。一連の基本的な語彙と適切な言語使用域を用いている。必要とされる場面では多様な文化の理解の証拠が、しばしば示されている。

評価4

受容技能（聞く・読む）：ほとんどの基本的な情報や考えに、明確に答えている。

対話技能：簡単なやりとりの中で、的確に答え、理解していることが示されている。発音やイントネーションはたいていメッセージの理解の一助となっている。簡単なやりとりに参加している。メッセージは通常明確である。

表出技能（話す・書く）：論理的な構成を用いて、基本的な考えを発展させている。一連の単純な、接続詞をしばしば用いている。ほとんどの基本的な文型を正確に用いている。基本的な語彙と適切な言語使用域を用いることに成功している。必要とされる場面では多様な文化の理解の証拠が、たいていの場合示されている。

評価3

受容技能（聞く・読む）：基本的な情報に、ときどき明確に答えている。

対話技能：簡単なやりとりの中で、ときどき的確に答え、ときどき理解していることが示されている。発音やイントネーションは、ときどきメッセージの理解の一助となっている。単純なやりとりの対話にときどき参加する。メッセージはときどき明確である。

表出技能（話す・書く）：基本的な考えをときどき発展させている。単純な接続詞をときどき用いることに成功している。基本的な文型をときどき的確に用いている。基本的な語彙と適切な言語使用域をときどき用いることに成功している。必要とされる場面では多様な文化の理解の証拠が、ときどき示されている。

評価 2

受容技能（聞く・読む）：単純な情報に、たまに明確に答えている。

対話技能：たまに的確に答え、たまに理解していることが示されている。発音やイントネーションは、たまにメッセージの理解の一助となっている。たまに簡単なやりとりの対話に参加する。メッセージはたまにしか明確でない。

表出技能（話す・書く）：基本的な考えをたまに発展させている。単純な接続詞をたまに用いている。基本的な文型をたまに的確に用いている。基本的な語彙や適切な言語使用域をたまに用いている。必要とされる場面で多様な文化の理解の証拠を示すことはたまにしかない。

評価 1

受容技能（聞く・読む）：基本的な情報に、たまに明確に答えている。

対話技能：的確に答えることや、理解を示すことが大変まれである。発音やイントネーションがメッセージの理解の一助となることは大変まれである。単純なやりとりの対話に大変まれにしか参加しない。メッセージが明確な場合は大変まれである。

表出技能（話す・書く）：単純な接続詞を用いるのは大変まれである。基本的な文型を用いるのは大変まれである。基本的な語彙や適切な言語使用域を効果的に用いることは大変まれである。必要とされる場面で多様な文化の理解の証拠を示すことは大変まれである。

「古典言語」（ラテン語と古典ギリシア語）

評価 7

学習内容についての知識と理解、概念的理解と文脈的理解、および批判的な振り返りの思考が特に優れていることを示している。解答は理論的で筋道が立っており、適切に選ばれた例をきわめて有効に使用している。別の観点があることに対する認識を示しており、多様な文化に対する理解があることが明確に示されている。翻訳が非常に正確で、原文の意味を伝えることができる。原文における文法と語彙が適切に使用されている。

エビデンスを洞察力をもって分析、評価、および統合する技能を通じて、非常に効果的になりサーチ、調査、および技術的技能をもっていることが示されている。

評価6

学習内容についての知識と理解、概念的理解と文脈的理解、および批判的な振り返りの思考が優れていることを示している。解答はほぼ理論的で筋道が立っており、適切に選ばれた例を有効に使用している。別の観点があることに対する認識を十分に示しており、多様な文化に対する理解があることが明確に示されている。翻訳が正確で、原文の意味をほぼ伝えることができる。原文における文法と語彙がほぼ適切に使用されている。

エビデンスを有効に分析、評価、および統合する技能を通じて、効果的なりサーチ、調査、および技術的スキルをもっていることが示されている。

評価5

学習内容についての知識と理解、概念的理解と文脈的理解、および批判的な振り返りの思考が妥当であることを示している。解答は通常、理論的で筋道が立っており、適切に選ばれた例を有効に使用している。通常は別の観点に対する正しい認識を示しており、多様な文化に対する理解があることをある程度示している。翻訳はある程度正確で、原文のだいたいの意味を伝えることができる。原文における文法と語彙が通常適切に使用されている。

効果的なりサーチ、調査、および技術的スキルをもっていることが示されている。エビデンスを分析、評価、および統合する技能をもっていることは示されているが、一貫したものになるには至っていない。

評価4

(不足が見られるものの) 学習内容についてのしっかりとした知識と理解があり、概念的理解と文脈的理解、および批判的な振り返りの思考をある程度もっていることを示している。解答はそれなりに理論的で筋道が立っており、例を使用している。別の観点に対する認識を示している部分もあり、多様な文化に対する理解があることをある程度示している。翻訳は部分的に正確で、原文の意味の一部を伝えることができる。原文における文法と語彙をある程度適切に使用できている。

ある程度のリサーチ、調査、および技術的スキルをもっていることが示されている。エビデンスを分析、評価、および統合する技能をもっていることは示されているが、一貫したものになるには至っていない。

評価3

不足があるものの、基本的な学習内容についての知識と理解、ある程度の概念的理解と文脈的理解、およびある程度の批判的な振り返りの思考をもっていることを示している。解答は、根拠のあるものだが不明確で筋道が立っておらず、例の使用も限定的である。別の観点に対する認識、および多様な文化に対する理解を示してはいるが、それらは限定的

なものである。翻訳が正確であることはまれだが、原文の基本的な意味の伝えることができる。原文における文法と語彙を多少は適切に使用できている。

基礎的なリサーチ、調査、および技術的スキルをもっていることが示されている。エビデンスを分析、評価、および統合するスキルが示されないときもある。

評価2

学習内容についての知識と理解が大きく不足しており、概念的理解と文脈的理解、および批判的な振り返りの思考もほとんど示されない。解答が根拠のあるものであることはまれで、不明確で筋道が立っておらず、例の使用は効果的でないか不適切なものである。別の観点に対する認識、および多様な文化に対する理解はほとんど示さない。翻訳はほぼ不正確であり、原文の基本的な意味すら伝えられないことがほとんどである。原文における文法と語彙を適切に使用していることはまれである。

限定的なリサーチ、調査、および技術的スキルしか示されていない。エビデンスを分析、評価、および統合するスキルが示されることはまれである。

評価1

学習内容についての知識と理解、概念的理解と文脈的理解、および批判的な振り返りの思考がほとんど示されていない。解答が根拠のあるものであることはまれで、不明確で筋道が立っておらず、例の使用は関連性がない。別の観点に対する認識、および多様な文化に対する理解をほとんど、またはまったく示さない。翻訳はほぼ不正確であり、原文の基本的な意味すら伝えられないことがほとんどである。原文における文法と語彙を適切に使用していることはまれである。

非常に限定的なリサーチ、調査、および技術的スキルしか示されていない。エビデンスを分析、評価、および統合するスキルを示さない。

グループ3「個人と社会」 成績評価の説明

評価7

批判的思考のスキルに、概念に対する認識、洞察、知識、および理解が明確に表れている。十分に発展させ、論理的で筋道を立てた方法で構成し、適切な例を挙げて説明した解答を述べる、高いレベルの能力がある。科目特有の専門用語を正確に用いる。関連文献に精通している。証拠を分析、評価し、知識と概念を総合する能力がある。選択可能な観点や、主観的かつイデオロギー的な偏見を認識し、暫定的ながら、理性的な結論に達する能力がある。批判的な振り返りの思考の証拠が一貫して認められる。データの分析および評価、または問題解決において、高いレベルの能力がある。

評価6

詳細な知識と理解を示している。筋道を立てた方法で論理的に構成され、十分に発展させた解答を述べる。一貫して適切な専門用語を用いる。知識や概念を分析、評価、総合する能力がある。関連のある研究や理論、問題に対する知識があり、それらを発展させるもととなった、さまざまな観点や文脈を認識している。批判的思考の証拠が一貫して見られる。データを分析および評価、または的確に問題を解決する能力がある。

評価5

科目特有の専門用語を用いて、科目についての適切な知識と理解を示している。解答は論理的に筋道を立てた方法で構成されているが、十分に発展させられてはいない。知識と概念をまとめ、的確な答えを述べるいくつかの試みがなされている。評価的というよりも説明的な傾向があるが、対比的な観点を提示・発展させる能力がいくつか示されている。批判的思考の証拠がいくつかは認められる。データを分析および評価、または問題を解決する能力がある。

評価4

孤立した、断片的な、無関係、または「常識的な」ポイントの単なる引用にとどまらない、科目についての確かな知識と理解を示している。解答を構成するいくつかの能力はあるが、明確さは不十分であり、いくつかの重複も見られる。科目特有の専門用語を用いて、知識と理解を示す能力がある。事実や考えが原理や概念に関連づけられていたり、そのなかで具体化されていたりするという点についていくつか理解している。考えを発展させ、主張を立証するいくつかの能力がある。分析的というよりも説明的に知識や理解を用い

る。知識や理解の欠如を、その知識の初歩的な応用や評価によって埋め合わせるいくらかの能力がある。データを解析し、問題を解決する能力があり、分析および評価を行おうとするいくらかの能力がある。

評価3

科目についてのいくらかの知識と理解を示している。構成に関する基本的な感覚はあるが、解答全体に用いられてはいない。科目に適切な専門用語を基本的に用いることができる。事実や考えを結びつけるいくらかの能力がある。データを理解し、問題を解決するいくらかの能力がある。

評価2

科目についての知識と理解は限定的である。解答には構成の感覚がいくらか見てとれる。科目に適切な専門用語の使用は限定的である。事実と考えを結びつける能力は限定的である。データを理解し、問題を解決する基本的な能力がある。

評価1

科目についての知識や理解は大変限定的である。解答には、まとまった構成はほぼない。専門用語の使い方は不適切または不十分である。データを理解したり、また問題を解決したりする能力は限定的である。

グループ4「理科」 成績評価の説明

「理科」

評価7

包括的な科目の知識を示し、概念および原理についてそれを自由に駆使する万全な能力を備えている。関連する情報、概念、原理を幅広い文脈に選択・応用している。量的および質的なデータを徹底的に分析・評価することができる。複雑な現象を詳細に説明し、的確な予測を立てている。新しい、または難解なものも含め、優れた問題解決能力を示す。的確な専門用語や表現技法を用いて、論理的かつ簡潔にコミュニケーションをとることができる。洞察力や独自性が示されている。

倫理にかなった方法で調査に取り組み、必要な場面では安全性および環境への影響に完璧な配慮を行っている。調査では、洞察力と独自に設定する能力を示し、高い調査・分析能力をもって革新的な実習を完了させる。本物の問題を解決するための革新的かつ効果的な結論を導く。

評価6

非常に幅広い科目の知識を示し、概念および原理について完全な理解を備えている。関連する情報、概念、原理をほとんどの文脈に選択・応用している。量的および質的なデータを高いレベルの能力で分析・評価することができる。複雑な現象を説明し、的確な予測を立てている。基本的または一般的な問題を解決し、新しい、または難解な問題を解決するのに必要な能力を示す。適切な専門用語や表現技法を用いて、効果的なコミュニケーションをとることができる。たまに洞察力や独自性が示されている。

倫理にかなった方法で研究に取り組み、必要な場面では環境への影響と安全性にかなりの配慮を行っている。調査では、革新的な考えと独自に設定する能力を示し、高い調査・分析能力をもって実習を完了させる。本物の問題を解決するための非常に有効かつ妥当な結論を導く。

評価5

科目における広い知識と、ほとんどの概念や原理に対する妥当な理解を示し、いくつかの文脈に応用できる。量的および質的なデータを十分に分析・評価することができる。単純な現象について説明することができる。基本的または一般的な問題のほとんどと、いく

つかの新しい、もしくは難易度の高い量的および質的な問題を解くことができる。不適切な資料はほとんど、またはまったく用いずに明確なコミュニケーションをとることができる。

倫理にかなった方法で研究に取り組み、必要な場面では環境への影響と安全に配慮している。調査では、適切な調査・分析能力を示し、本物の問題を解決するための関連性があり、妥当な結論を導く。

評価4

(不足が見られることもあるが、) 科目についてのまずまずな知識を示し、ほとんどの基本的な概念や原理をまずまず理解しているが、それらを応用する能力は限定的である。量的または質的なデータをいくらか分析・評価することができる。基本的、もしくは一般的な問題のいくつかを解くことができるが、新しい、または難解な状況に対処する能力は限定的である。まずまずのコミュニケーションをとることができるが、解答は明確さに欠けている場合があり、ときどき重複した、もしくは無関係な資料が含まれる場合もある。

おおむね倫理にかなった方法で研究に取り組み、必要な場面では環境への影響と安全性にいくらか配慮している。調査では、ある程度適切な調査・分析能力を示し、基本的な実習を完了させることができる。調査対象の問題を解決するためのある程度妥当な結論を導く。

評価3

科目についての知識は限定的で、基本的な概念や原理についても部分的にしか理解しておらず、それらを応用する能力も低い。データを利用し、基本的、もしくは一般的な問題を、いくらかは解くことができる。コミュニケーションは明確さに欠けており、重複した、あるいは不適切な資料をいくらか用いている。

ときどき倫理にかなった方法で研究に取り組み、必要な場面では環境への影響と安全性にいくらか配慮している。単純な分析手段を用いて、基本的な実習を完了させる能力を示す。調査にある程度関連した、部分的な結論を導く。

評価2

科目についての知識がほとんどなく、基本的な概念や原理の理解も弱い。応用された証拠もほとんど認められない。データを処理する最低限の能力を示し、問題を解く能力は、ほとんど、もしくはまったくない。解答はしばしば不完全もしくは無関係である。

たまに倫理にかなった方法で研究に取り組むが、環境への影響と安全性に対して示す認識は限定的である。基本的な実習に取り組む能力を示すが、かなりの指示と説明を必要とする。結論はおおむね誤っており、関連性が低い。

評価1

科目についての知識は断片的で、いかなる概念や原理に対しても理解が大変少ない。調査活動において、個人のスキル、忍耐力、および責任感をほとんど示さない。

倫理にかなった方法で研究に取り組むことや、環境への影響や安全性に対して示す認識はほとんどない。指示・監督がある場合のみ、基本的な実習に取り組む能力を示す。結論を見いだそうとすることはないか、あっても完全に誤っているか、関連性がない。

「コンピューター科学」

評価7

コンピューター科学の事実に基づく情報についての包括的な知識を示し、概念および原理についてそれを自由に駆使する万全な能力を備えている。関連する情報、概念、原理を幅広い文脈に選択・応用し、ほとんどの問題を的確に解くことができる。かなり複雑なアルゴリズムを解析・構築し、実行可能で大部分が能率的な解答を導ける。的確な専門用語を用いて、論理的かつ簡潔にコミュニケーションをとることができる。広範囲の解答において、洞察力や主体性が示されている。

完全な計画と、完全に首尾一貫した設計概論を考案することができる。開発された成果物は計画や作業と完全に一致している。ドキュメンテーション（文書化）は完全であり、成果物は十分にテストと評価がなされている。問題解決の技能の使い方には、高いレベルの複雑性と創意工夫が示されている。

評価6

コンピューター科学の事実に基づく情報についての非常に幅広い知識を示し、概念および原理についての理解を備えている。関連する情報、概念、および原理をほとんどの文脈において選択・応用し、基本的または一般的な問題と、ほとんどの新しい、または難易度の高い問題を解くことができる。かなり複雑なアルゴリズムを、ほとんど誤りなく解析・構築でき、実行可能な解決方法を考案できる。的確な専門用語を用いて、効果的なコミュニケーションをとることができる。広範囲の解答において、たまに洞察力や主体性が示されている。

計画と設計概念を考案することができる。成果物は計画や作業に一致している。ドキュメンテーションは完全なもので、成果物はテストと評価がされている。問題解決のための技能の使い方には、非常に良いレベルの複雑さと創意工夫が見られる。

評価5

コンピューター科学の事実に基づく情報についての幅広い知識を示している。ほとんどの概念や原理を適切に理解し、いくつかの文脈に応用できる。それにより、ほとんどの基本的または一般的な問題と、一部の新しい、もしくは難易度の高い問題を解くことができる。かなり複雑なアルゴリズムを解釈・構築し、部分的に実行可能であるか、または非能率的な解決方法を考案できる。無関係な資料はほとんど、またはまったく用いずに、適切な専門用語を用いて明確なコミュニケーションをとることができる。

部分的な計画と、計画の必要事項を満たす設計概論を考案することができる。成果物は実行可能だが、計画と完全には一致しない。テストとドキュメンテーションは完了しているが、評価は不完全である。問題解決の技能の使い方には、良いレベルの複雑さと創意工夫が見られる。

評価4

コンピューター科学の事実に基づく情報について、そこそこの知識を示しているが、不十分な点もいくつかある。ほとんどの基本的な概念や原理をまずまず理解しているが、それらに応用する能力は限定的である。基本的、もしくは一般的な問題のいくつかを解くことができるが、新しい、または難解な状況に対処する能力は限定的である。単純なアルゴリズムを解析・構成できる。おおむね正確な専門用語を用いて、まずまずのコミュニケーションをとることができるが、解答には明確さが欠けており、重複した、もしくは関連性のない資料がいくらか含まれている。

基本的な計画と、設計概論を考案することができる。成果物はおおむね実行可能だが、計画のすべての要素には一致していない。ドキュメンテーションは完全であり、テストがなされたエビデンスもあるが、評価は不完全である。問題解決の技能の使い方には、まずまずの複雑さと創意工夫が見られる。

評価3

コンピューター科学の事実に基づく情報について、限定的な知識しかない。基本的な概念や原理の部分的な理解と限定的な応用能力を示している。単純なアルゴリズムを解析・構成することができる。基本的な専門用語を用いたコミュニケーションができるが、明確さに欠けており、重複した、もしくは関連性のない資料がいくらか含まれている。

不完全な計画と設計概論を考案している。成果物は計画のいくつかの点に一致しており、ドキュメンテーションにおいては、テストや評価がなされた証拠がいくらか認められる。問題解決の技能の使い方には、限定的なレベルの複雑さや創意工夫が見られる。

評価2

コンピューター科学の事実に基づく情報について、記憶が少ない。基本的な概念や原理についての限定的な理解と、応用がなされた少しのエビデンスを示している。単純なアルゴリズムを解析もしくは構成できるエビデンスがいくらか見られる。しばしば解答は不完全もしくは関連性のないものである。

根拠の弱い、不完全な計画を考案している。設計概論は貧弱で、計画に一致していない。成果物は貧弱で、実行不能である。テストがなされたエビデンスは限定的で、ドキュメンテーションは貧弱であり、評価は限定的、もしくはまったくなされていない。問題解決の技能の使い方には、低いレベルの複雑さと創意工夫が見られる。

評価1

コンピューター科学の事実に基づく情報の記憶は断片的で、いかなる概念や原理に対しても理解が大変少ない。アルゴリズムを構成・解析する能力が、少ないもしくはまったくない。

設計概論や計画は試みられていない。実行可能な成果物の証拠は、ほとんどもしくはまったくなく、テストやドキュメンテーション、評価がなされたエビデンスも、ほとんどもしくはまったくない。問題解決の技能の使い方には、いかなるレベルの複雑さや創意工夫も見られない。

グループ5「数学」 成績評価の説明

評価7

シラバスの内容について、万全な知識をもち、包括的な理解を示している。幅広くさまざまな文脈において非常に高いレベルで数学的な議論を構成・応用できる。難解な状況において、問題解決の技能を正しく用いることができる。パターンや構成を識別し、結論を一般化し正当化を行っている。結果が意味するものやその妥当性を理解・説明し、完全かつ適切な結論を導き出している。正確な技能や表記、専門用語を用いて、明確で効果的かつ簡潔に、数学的コミュニケーションができる。コース内のさまざまな分野の知識や理解、スキルを関連づけて考えることができる能力を示している。難解な状況でテクノロジーを正確に使い、必要な場合は、電卓の機能を効果的に使うことができる。

評価6

シラバスの内容について、幅広い知識と包括的な理解を示している。さまざまな文脈において数学的な議論を構成・応用できる。難解な状況において、問題解決の技能を用いることができる。パターンや構成を認識し、いくらかの一般化を行っている。結果が意味するものやその妥当性を理解・説明し、適切な結論を導き出している。正確な技能や表記、専門用語を用いて、明確で効果的に、数学的コミュニケーションができる。コース内のさまざまな分野の知識や理解、スキルを、いくらか関連づけて考えることができる能力を示している。定型的な状況ではテクノロジーを正確に使い、必要な場合は、電卓の機能を効果的に使うことができる。

評価5

シラバスの内容について、幅広い知識と良い理解を示している。定型的な問題の解決に、数学的な議論を応用している。定型的な状況において、問題解決の技能を正しく用いることができる。さまざまな文脈に、数学のプロセスを正しく応用することができ、パターンや構成を認識している。結果の重要性を理解し、いくつかの結論を導き出している。的確な技能や表記、専門用語を用いて、効果的な数学的コミュニケーションができる。コース内のさまざまな分野の結びつきを認識している。必要な場合は電卓の機能を使うことができるが、使い方が効果的ではない場合がたまにある。

評価4

シラバスについての納得できる知識を示している。いくつかの定型的な問題の解決において、数学的な議論を応用している。定型的な状況において、問題解決の技能を用いている。複雑ではない文脈において、数学のプロセスを正しく応用することができる。パターンや構成をいくらか識別することができる能力を示している。結果の重要性を限定的に理解し、いくつかの結論を導き出そうと試みている。いくつかの適切な技能や表記、専門用語を用いて、まずまずな数学的コミュニケーションができる。いくらかは電卓の機能を使えるが、必要な場合いつもとは限らず、非効率的な場合がたまにある。

評価3

シラバスの内容についての部分的な知識があり、いくつかの定型的な問題の解決において、数学的な議論の理解を限定的に示している。複雑ではない文脈に、数学のプロセスを応用しようと試みている。定型的な状況において、問題解決の技能を用いようと試みている。いくらかの適切な技能や表記、専門用語を用いて、いくらかの数学的コミュニケーションができる。電卓の機能を適切に使えることもあるが、その使用は非効率的なことが多い。必要な場合いつもとは限らず、非効率的な分析アプローチをとることもある。

評価2

シラバスの内容についての知識は限定的である。基本的なレベルの数学的プロセスを実行する試みがなされている。いくらかの数学的コミュニケーションができるが、不適切な技能や表記、専門用語をしばしば使用する。必要に応じて電卓を正確に使うことができない。グラフィック表示電卓（GDC）の使用が不可欠な質問は、おおむね解くことを試みていない。

評価1

シラバスの内容について、最低限の知識しか示されていない。数学のプロセスを実行する能力は、定型的な問題の解決においてさえ、ほとんどもしくはまったく実行されていない。最低限の数学的コミュニケーションしか行わず、一貫して不適切な技能や表記、専門用語を用いる。テクノロジーを効果的に利用することができない。

グループ6「芸術」 成績評価の説明

評価7

成果物は非常に効果的なリサーチと探求が行われたことを示しており、科目特有の専門用語が非常に効果的に使用されている。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図を非常に効果的に理解していることを示している。

実習やパフォーマンスでは、非常に効果的な科目特有の専門技術、技能、および能力があることを示している。

制作した成果物と作業中のものの両者に対して、非常に効果的な批判的振り返り（クリティカル・リフレクション）を行っている。

評価6

成果物は効果的なリサーチと探求が行われたことを示し、科目特有の専門用語が効果的に使用されている。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図を効果的に理解していることを示している。

実習やパフォーマンスでは、効果的な科目特有の専門技術、技能、および能力があることを示している。

制作した成果物と作業中のものの両者に対して、効果的な批判的振り返りを行っている。

評価5

成果物は発展したリサーチと探求が行われたことを示しており、科目特有の専門用語が発展的に使用されている。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図の理解が発展したものであることを示している。

実習やパフォーマンスでは、科目特有の専門技術、技能、および能力が発展したものであることを示している。

制作した成果物と作業中のものの両者に対して、発展した批判的振り返りを行っている。

評価4

成果物は基礎的なリサーチと探求が行われたことを示しており、科目特有の専門用語の基礎的な使用がみられる。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図の基本的な理解があることを示している。

実習やパフォーマンスでは、各科目の基本的な専門技術、技能、および能力があることを示している。

制作した成果物と作業中のものの両者に対して、基本的な批判的振り返りを行っている。

評価3

成果物は未熟または限定的なリサーチと探求が行われたことを示しており、科目特有の専門用語の使用は未熟または限定的である。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図の理解が未熟または限定的であることを示している。

実習やパフォーマンスでは、科目特有の専門技術、技能、および能力が未熟または限定的であることを示している。

制作した成果物と作業中のものの両者に対して、未熟または限定的な批判的振り返りを行っている。

評価2

成果物は表面的なリサーチと探求が行われたことを示しており、科目特有の専門用語が表面的に使用されている。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図の理解が表面的であることを示している。

実習やパフォーマンスでは、科目特有の専門技術、技能、および能力が表面的であることを示している。

制作した成果物と作業中のものの両者に対して、未熟または限定的な批判的振り返りを行っている。

評価1

成果物は、関連性がない、または不十分なリサーチと探求が行われたことを示しており、科目特有の専門用語の使用も関連性がないか不十分である。

創造的な作業とプロセスでは、芸術的なアイデアと意図の理解が関連性がない、または不十分なものであることを示している。

実習やパフォーマンスでは、科目特有の専門技術、技能、および能力が、関連性がない、または不十分なものであることを示している。

制作した成果物と作業中のものに対して、関連性がない、または不十分な批判的振り返りを行っている。

学際的科目 成績評価の説明

「文学とパフォーマンス」

評価 7

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、非常に優れた理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答には説得力があり、詳細で、独自性のある分析、まとめ、評価を行っている。口頭と記述の双方において、非常に高いレベルの表現力がある。非常に高度な正確さと明確さを備えている。文脈を非常によく認識し、聞き手または読者に対する影響について非常に優れた関心のもち方を示している。作品の中で表現されている考えや感情に対する批判的な考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、非常に効果的に構成されている。文学の種類 (Literary style) に対する詳細な認識があり、文学をパフォーマンスへと転化する行為に完全に取り組んでいる。目的に沿って効率的に他人との共同作業を行うのに必要な個人的資質を備えている。

評価 6

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、大変良い理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答の大部分には説得力があり、ある程度の詳細さと独自性のある分析、まとめ、評価を行っている。口頭と記述の双方において、高いレベルの表現力がある。高度な正確さと明確さを備えている。文脈をよく理解し、聞き手または読者に対する影響について優れた関心のもち方を示している。作品の中で表現されている考えや感情に対する批判的な考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、効果的に構成されている。文学の種類に対する明確な認識があり、文学をパフォーマンスへと転化する行為にはっきりと取り組んでいる。他人と建設的な方法で共同作業を行うことに対して積極的である。

評価 5

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、良い理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答はたいてい熟考の上でなされており、妥当な分析、まとめまたは評価を行っている。口頭と記述の双方において、まずまずの程度の表現力がある。まずまずの正確さと明確さを備えている。文脈を理解し、聞き手または読者に対する影響に関心を示している。作品の中で表現されている考えや感情に対する考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、明確に構成されている。文学の種類に対する

認識があり、文学をパフォーマンスへと転化する行為に取り組んでいる。他人と協力して共同作業を行う際の取り組みが認識できる。

評価 4

設問や課題に対するまずまずの知識と理解が示されている。解答における分析やまとめの大部分は妥当である。口頭と記述の双方において、納得できる程度の表現力がある。正確さや明確さの点で多少の欠落がある。文脈に対するある程度の認識と、聞き手または読者に対する影響にある程度の関心を示している。作品の中で表現されている考えや感情は、基本的な構成が正しくなされているなかで探究されている。文学の種類に対するある程度の認識があり、文学をパフォーマンスへと転化する行為にある程度取り組んでいる。他人との共同作業を行う必要性を認めている。

評価 3

設問や課題に対するある程度の知識と理解が示されている。解答はある程度の範囲で妥当であるか、ある程度の範囲での適切な詳細さで述べられている（またはその両方である）。口頭と記述の双方において、ある程度の適切な表現力がある。正確さや明確さの点で誤りが見られる。文脈に対する認識と、聞き手または読者に対する影響に対して示す関心は限定的である。作品の中で表現されている考えや感情は、構成が正しくなされたある程度の証拠が認められるなかで探究されている。文学の種類に対する認識がわずかで、文学をパフォーマンスへと転化する行為に控えめに取り組んでいる。他人との効果的な共同作業への取り組みが少し見られる。

評価 2

設問や課題への理解が表面的である。解答における妥当性はおおむね限定的である。口頭と記述の双方において、表現力は限定的である。正確さや明確さの点で重大な欠落が見られる。文脈に対する認識と、聞き手または読者に対する影響に対して少ない関心しか示していない。作品の中で表現されている考えや感情は、初歩的な構成のなかで探究されている。文学の種類に対する認識がごくわずかで、文学をパフォーマンスへと転化する行為にもあまり取り組んでいない。他人との効果的な共同作業への取り組みのエビデンスはわずかである。

評価 1

設問や課題に対し、非常に初歩的な知識や理解しかない。解答には非常に限定的な根拠しかない。口頭と記述の双方において、表現力が非常に限定的である。正確さと明確さの点で、広範囲に及ぶ欠落が見られる。文脈に対する認識がまったくなく、聞き手または読者に対する影響に対してまったく関心を示していない。作品の中で表現されている考えや感情は、非常に初歩的な構成のなかで探究されている。文学の種類に対する認識がごくわ

ずかで、文学をパフォーマンスへと転化する行為への取り組みが欠けている。他人との共同作業ができない。

「環境システムと社会」(SL)

評価7

関連する環境システムと社会 (ESS : environmental systems and societies) の概念と論点に対する包括的で正しい知識と理解を示している。ESS の専門用語を一貫して適切かつ正確に使用し、うまく構成された明確な説明を行う。使用する例には関連性があり、説明もうまく、ある程度の独自性も見られ、効果的に使われている。自身のものとは異なるさまざまな観点や価値観体系について、ある程度の知識に基づいた理解をもっている。詳細でバランスのとれた、洞察のある分析や議論を詳細な評価に基づいて行っている。複雑で、馴染みのない問題を解く能力をもっている。判断や結論は明確で、ある程度の批判的振り返りを含むエビデンスと議論によって十分に裏づけられている。量的または質的な（およびその両方の）データを徹底的に分析・評価することができる。

実習において以下が示されている。洞察力と独自に設定する能力があり、倫理的な問題に対する完全な注意と高い調査・分析手法をもって、革新的な実務調査を完成させている。本物の問題を解決するための革新的かつ効果的な結論を導く。調査が潜在的にもつ悪影響を認識し、それを最小限にするための効果的な取り組みを行う。環境問題に対する徹底した考察が行われており、研究課題（リサーチクエスチョン）に対する詳細な説明がなされている。

評価6

関連する ESS の概念と論点に対する広範囲における正しい知識と理解を示している。ESS の用語を適切かつ正確に使用し、うまく構成された明確な説明を行う。使用する例には関連性があり、説明もうまく、独自性もわずかに見られるもので効果的に使われている。自身のものとは異なるさまざまな観点や価値観体系について、ある程度の知識に基づいた理解をもっている。詳細で、バランスのとれた分析や議論を妥当な評価に基づいて行っている。複雑で、馴染みのない問題を解く能力が多少ある。判断や結論は明確で、エビデンスと議論によって十分に裏づけられている。量的または質的な（およびその両方の）データを高いレベルの能力で分析・評価することができる。

実習において以下が示されている。革新的な考えと独自に設定する能力がある程度あり、高い調査・分析手法をもって倫理的な方法で完全な調査を完了させる。本物の問題を解決するための非常に有効かつ妥当な結論を導く。調査が潜在的にもつ悪影響を認識し、それを最小限にするための妥当な取り組みを行う。環境問題に対する非常に有効な考察が行われており、研究課題に対する明快な説明がなされている。

評価 5

関連する ESS の概念と論点に対して、いくつかの領域における正しい知識と理解を示している。ESS の用語をおおむね適切に使用し、おおむね明確な説明を行う。使用する例には関連性があり、ある程度説明されている。自身のものとは異なるさまざまな観点や価値観体系について、ある程度の知識に基づいた理解をもっている。明快な分析や議論は、ある程度バランスをもって取り組まれた評価に基づいている。複雑で、馴染みのない問題を解く能力が多少ある。判断や結論は特定できるもので、エビデンスと議論によって部分的に裏づけられている。量的または質的な（およびその両方の）データを十分に分析・評価することができる。

実習において以下が示されている。適切な調査・分析手法をもって倫理的な方法で、ある程度独立して調査を完了させる。本物の問題を解決するための、関連性があり妥当な結論を導く。調査が潜在的にもつ悪影響をある程度認識し、それを最小限にするための妥当な取り組みを行う。環境問題に対する有効な考察が行われており、研究課題に対するだいたいの説明がなされている。

評価 4

関連する ESS の概念と論点に対して、1つか2つの領域における正しい知識と理解を示している。ESS の用語をおおむね適切に使用し、ときに明確な説明を行う。関連した例を使用することもあるが、その説明は限定的である。自身のものとは異なる観点や価値観体系について、ある程度の理解をもっている。分析や議論は明快さもあるが不完全で、限定的にしかバランスがとれていない。単純な問題や、馴染みのある問題を解く能力が多少ある。判断や結論は特定できるものだが、エビデンスと議論による裏づけは限定的である。量的または質的なデータをいくらか分析・評価することができる。

実習において以下が示されている。ある程度の適切な調査・分析手法をもって倫理的な方法で、おおむね定められた内容の調査を完了させる。調査対象となる問題に対して、多少の妥当な結論を導く。調査が潜在的にもつ悪影響を認識することもある。環境問題に対する概要を示し、研究課題とのつながりを見いだしている。

評価 3

関連する ESS の概念と論点に対して、あいまいで部分的な知識と理解しか示していない。ESS の用語の使用はまれで、説明と関連性が不明確なことが多い。使用する例は関連性が低く、説明も不十分である。自身のものとは異なる観点や価値観体系について、非常に限定的な理解しかもっていない。不十分な分析や議論を行うか、または事実や概念の羅列に過ぎない。単純な問題や、馴染みのある問題を解く能力は非常に限定的である。判断や結論は不明確で、エビデンスや議論による裏づけがない。

実習において以下が示されている。倫理的な問題への認識は不明確だが、最も単純な分析手法を用いて、基本的な調査を完了させることができる。調査にある程度関連性をもつ

た部分的な結論を得ることができる。調査が潜在的にもつ悪影響への認識は限定的である。環境問題に対する認識と、研究課題とのつながりについて、限定的にしか把握していない。

評価 2

関連する ESS の概念と論点に対して、断片的で限定的な知識しかなく、理解もほとんどしていない。ESS の用語の使用はまったくないか、あったとしてもごくまれで、説明は一般に理解し難い。例の使用は（もしあれば）不完全か関連性がない。自身の観点や価値観体系を表現する能力は限定的である。分析や議論を実際に行っているエビデンスは見られない。単純な問題や、馴染みのある問題を解こうとしても、誤りがあり成功しない。判断や結論を見いだす試みははっきりと見られない。

実習において以下が示されている。倫理的な問題への認識はわずかで、基本的な調査を行うためにはかなりの助言と指示を必要とする。見いだす結論は、間違っているか関連性がない。調査が潜在的にもつ悪影響に対する有効な認識はない。環境問題に対する認識は不明確か欠如しており、研究課題とのつながりがない場合もある。

評価 1

関連する ESS の概念と論点に対して、ほとんど知識がない。ESS の用語は使用されず、説明は理解し難い。例の使用は認識できない。観点や価値観体系をはっきりと表現することはできない。分析や議論を行っていない。単純な問題や、馴染みのある問題でもあまり解こうとしない。判断や結論を見いだそうとしない。

実習において以下が示されている。倫理的な問題への認識は限定的で、ごく基本的な調査を行うために完全な指示を必要とする。結論を見いだそうとしないか、したとしても完全に間違っているか、関連性がない。調査が潜在的にもつ悪影響に対する認識がない。環境問題に対する認識がない。

「課題論文」(EE) 成績評価の説明

評価 A

効果的なりサーチスキルにより、的が絞れた、適切な研究課題を設定しており、研究課題は選んだトピックの範疇で探求可能なものである。妥当な研究領域、研究方法、および文献を効果的に扱っている。関連する学問領域の広い文脈の中において、選んだトピックに対する非常に優れた知識と理解を示している。文献資料を適切に利用し、科目特有の専門用語や概念の適切な使用がこれをさらにサポートしている。一貫性があり、高度に分析された妥当な結論を導いている。効果的にエビデンスを示した根拠のある議論を継続的に行っている。批判的な評価を行っている。論文の体裁が優れており、統一性と一貫性があることで更に読みやすいものになっている。構成およびレイアウトの要素が示されており、的確に使用されている。

プロセスへの取り組みは概念的かつ個人的である。調査の過程における重要な決定を記録している。将来的な事柄に対する考察も含めて、個人的な振り返りを行ったエビデンスが示されている。

評価 B

適切なりサーチスキルにより、選んだトピックの範疇で探求可能な研究課題を見出している。妥当な研究領域、研究方法、および文献をおおむね効果的に扱うことができる。関連する学問領域の広い文脈の中において、選んだトピックに対する優れた知識と理解を示す。文献資料をおおむね適切に利用し、科目特有の専門用語や概念をおおむね適切に使用している。正確な分析に基づき、一貫性のある結論を導いている。根拠のある議論を行っており、しばしばそのエビデンスを示している。批判的な評価を行っているエビデンスを示すときもある。構成およびレイアウトの要素が全て明確に示されており、読みやすいものになっている。

プロセスへの取り組みは振り返りによってエビデンスが通常は示されている。研究プロセスにおける重要な判断が記録されている。

評価 C

選んだトピックの範疇で探求可能であると示されないことがあるものの、研究課題を導くまでにリサーチが行われたことが示されている。おおむね妥当な研究領域、研究方法、および文献を、部分的に効果的に扱うことができるが、プロセスには矛盾も見られる。ただしそれにより計画やアプローチには支障をきたしてはいない。関連する学問領域の広い文脈

の中において、選んだトピックに対するある程度の知識と理解を示し、それらはおおむね適切なものである。文献資料、および科目特有の専門用語や概念の使用を試みている。部分的に妥当な分析から、研究結果の統合を試みている。議論は説明的ではなくむしろ分析的である。評価を試みている。改善点も見られるものの、論文の体裁は満足のいくもので、読みやすさは損なわれていない。構成およびレイアウトの要素が不足しているか、適切に使用されていない部分がある。

プロセスへの取り組みのエビデンスが示されているが、おおむね断片的な情報が示されている。個人的な振り返りはほとんどが手続き上の内容である。

評価 D

リサーチ不足のために焦点が十分しぼられておらず、研究課題は選んだトピックの範疇では解答できない。妥当な研究領域、研究方法、および文献を扱うこともあるが、これらのプロセスにおける矛盾が計画やアプローチに支障をきたすことがある。関連する学問領域の広い文脈の中において、選んだトピックに対してある程度の関連する知識と理解を示すが、それらば妥当でないこともある。文献資料の利用を試みているが、科目特有の専門用語や概念の使用が不正確か不十分である。議論が記述的なため、分析が不適當で、結論は一貫性に欠ける。評価が不足している。論文の体裁は論理的でないことがあり、読みにくい。構成およびレイアウトの要素が不足している。

プロセスへの取り組みのエビデンスが示されているが、表層的なものである。個人的な振り返りはすべて説明的なもので、手続き上の内容についてのものである。

評価 E

論文は不明瞭なものである。アプローチが全体的に体系だったものではないため、研究課題の焦点はしぼれていない。限られた研究と文献資料を限定的に扱っている。関連する学問領域の広い文脈の中において、選んだトピックに対する知識と理解は一般に限定的で、部分的にしか正しくない。文献資料の利用は効果的なつながりがなく、科目特有の専門用語や概念の使用は不正確である。一貫性に欠けた分析から結論をまとめている。議論の要点の説明を試みているが、全体的に記述的なものである。構成およびレイアウトの要素の使用が全体的に不足しているか、不適當である。

プロセスへの取り組みは限定的で、事実や判断の根拠も限定されている。個人的なプロセスの振り返りが行われていない。

「知の理論」(TOK) 成績評価の説明

評価 A

「知識に関する問い」が徹底的に探究され、例や実生活での場面に対する明確な関係性が示されている。「知識の領域」または「知るための方法」(およびその両方)への効果的な関連づけが行われている。分析は首尾一貫しており、高いレベルである。含意、仮定、反訴、異なった観点を含んだ議論を展開している。

評価 B

「知識に関する問い」が探究され、例や実生活での場面に対する関係性が示されている。「知識の領域」または「知るための方法」(およびその両方)への関連づけが行われている。分析もできている。いくらかの含意または仮定(およびその両方)を含んだ議論を展開しており、反訴または異なった観点(およびその両方)について熟考された形跡がいくらかある。

評価 C

「知識に関する問い」が熟考され、すべてが適切ではないにせよ、例や実生活での場面に対する関係性が示されている。「知識の領域」または「知るための方法」(およびその両方)への関連づけがいくらかは行われている。分析は限定的な範囲で行われている。分析的というよりも説明的な議論を展開しており、反訴や異なった観点は特定されているものの探究には至っていない。

評価 D

例や実生活での場面に関係のある「知識に関する問い」が熟考された形跡は少ない。「知識の領域」または「知るための方法」(およびその両方)への関連づけは表面的にしかなされていない。分析は行われていない、あるいは一貫性に欠けるものである。議論はごく単純であり、大部分が説明的である。反訴や異なった観点に関する言及は最低限しか行われていない。

評価 E

「知識に関する問い」が熟考された形跡がまったくない。あったとしても「知識の領域」または「知るための方法」へのいくつかの言及のみである。議論はごく単純であり、説明的である。反訴や異なった観点に関する言及は行われていない。